

CONTENTS

- ・～ご存知ですか～
安全・確実な緊急避妊薬”ノルレボ”
- ・思春期学会参加報告
- ・私のオフタイム
～「静と動」を楽しむ～

Muraguchi Kiyo Women's Clinic

～ご存知ですか～ 安全・確実な緊急避妊薬 “ノルレボ” の登場

村口きよ女性クリニック 院長 村口喜代

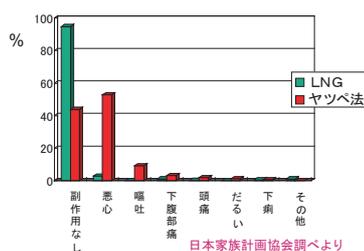
緊急避妊法とは、避妊をせず性交渉したり、コンドームの脱落・破損など避妊に失敗したなどの際に、望まない妊娠を避けるために、性交後 72 時間以内にホルモン剤を服用することです。

去る 2 月 23 日、日本でもようやく「緊急避妊薬」が厚生労働省に正式承認され、5 月 24 日から発売されました。海外では既に約 50 カ国で、最後の避妊手段として使われています。

これまでも「緊急避妊法」として「ヤツペ法」が広く行われてきました。これは治療薬であるホルモン量の多い卵胞・黄体ホルモン剤を医師の判断と責任において使用してきたものです。

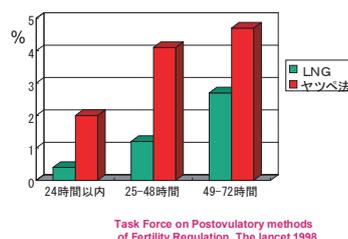
従来のヤツペ法は、①正式承認されていない
②2 回服用する（初回服用から 12 時間後に 2 回目を服用）③副作用が多い ④避妊効果が下がるなどの難点がありました。

緊急避妊服用に伴う副作用



従来のヤツペ法に比べてLNG錠の副作用の低さは一目瞭然です。

性交から緊急避妊服用までの時間と妊娠率



妊娠リスクは、LNG錠は従来のヤツペ法に比べて顕著に低くなっています。また、性交から緊急避妊服用までの時間が長い程、妊娠リスクは上がります。

無防備な性交

↓ 72時間以内 ↓



遅くとも120時間以内

無防備な性交後72時間以内に0.75mgのレボノルゲストレル(LNG)2錠を服用

なぜ避妊ができるのでしょうか？

排卵の抑制、黄体化非破裂卵胞を招来する。子宮内膜に作用して、着床を妨げる。精子や卵の運動を変化させる、受精を妨げる

こういった作用が働き、妊娠を妨げることができると考えられています。

今回正式承認された緊急避妊薬はレボノルゲストレル (LNG) という黄体ホルモン剤で、欧米ではすでに 1999 年から広く使用されてきました。

緊急避妊法は、妊娠を望まない女性にとって「最後の避妊手段」です。緊急避妊をきっかけに 100%に近い確率で避妊できる「低用量ピル」をお勧めします。

自分らしく、主体的に生きるために 緊急避妊法からピルへ

気軽にご相談ください

～優秀演題賞を受賞しました～

患者情報管理責任者 柴田 泰子



2011年8月26日～28日、福岡にて第30回日本思春期学会が開催され、院長、竹田、柴田の3名で参加してきました。出発の朝、少し秋めいてきた東北の風を感じながら仙台空港を飛び立ちましたが、到着した福岡空港を一步外へ出ると、夏真っ盛りの熱気に囲まれ、九州に来たことを肌で感じました。

今年のメインテーマは「性教育学再興」でした。学会発足30年という節目を迎え、30年の歴史がパネルで紹介されており、また、「大震災における小児・思春期問題」(理事長講演)や「低線量被曝の時代を生きる子どもたち～最新文献からのエビデンス～」(教育講演②)など、東日本大震災から津波、福島原発事故という未曾有の大災害に関する講演も組まれていました。

私にとって特にインパクトがあったのは、平栄氏(武蔵村山病院放射線治療科)の講演です。現在、国内ではICRPの勧告に沿った対応が求められていますが、それでは想定される健康被害を防ぎきれない可能性が文献上示されてきているということでした。チェルノブイリ原発事故と並ぶ規模である今回の原発事故を受け、ロシア政府によってこれまで外に出されなかった文献が次々に翻訳され始め、それらの最新文献のエビデンスをもとに日本政府の対応の危うさが指摘されました。私自身関心はあったものの素人には難しい内容で、なんとなく不安という程度に留まっていたのですが、これをきっかけに自分でも勉強しようと決めました。



当クリニックからは、一般演題①「性風俗産業に従事する女性の性意識・性行動について～性感染症(STI)患者へのアンケート調査・保健指導を通しての検討～」(竹田)、②「当院にみるレイプ・デートレイプの状況～公費負担制度利用へのハードル～」(柴田)を発表し、②の演題が優秀演題に選ばれ表彰されました。2006年度より、性犯罪被害者に対する緊急避妊費用等の公費負担制度が予算化され、性犯罪被害に関わる諸費用が公費負担されることになりましたが、実際の使用までには高いハードルがあり、まだまだ当事者の立場に立った制度ではないことを指摘しました。当クリニックでは、保健指導を行った看護師が指導記録をカルテに記載し、また患者さんへのアンケート調査も行い



指導に活かしております。毎年、それらの貴重なデータから見えてくる課題や、どのような対応が患者さんへのより適したサポートに繋がるのかを考え、発表することを続けてきました。

社会の変化のスピードは速く、情報・知識は更新され続けています。上手に深呼吸しながらも、表面的な情報に惑わされないよう世の中の流れに敏感な意識で過ごそうと思っています。

私のオフタイム ～「静と動」を楽しむ～

医事担当 志賀千賀子



友人の結婚式にて

私の楽しみは、気の置けない友人たちと料理とお酒でおしゃべりすることです。今年の一月に、その中のカップルから夫婦で結婚式に招待されました。私の大好きなフランス料理とシャンパンで振舞っていただき、とても美味しく、楽しい思い出となりました。

また落ち着くことは、ストレッチしながら録画したテレビ番組を観て楽しんだり、睡眠の前にエネルギープレー(森林浴効果)を枕や自分の周囲3箇所くらいにスプレーして眠りにつくことです。「動と静」、そのバランスを保つことが、私の元気の源の様な気がします。

今後、ヨガをまた習いに行きたいなあーと考えているところです。



お気に入りのエネルギープレー

臨時休診

10月1(土)は、第31回日本性科学学会参加の為、休診となりますのでご了承ください。

編集後記

夏の暑さも和らぎ、過ごしやすい季節となりました。スーパーでも、秋の味覚が顔を出し始めましたが、旬のものは栄養豊富で、心も体も元気にしてくれます。美味しいものを食べて頑張りましょう😊



発行元：村口きよ女性クリニック
http://www.muraguchikiyo-wclinic.or.jp
e-mail: con@muraguchikiyo-wclinic.or.jp